

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	総務課(総務・防災担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	姉妹都市提携推進事業	事業番号	10550

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	7-3	姉妹都市・国際交流の推進
	施策目標	幅広い視野と豊かな人間性を育み交流するまち	

2 事務事業の目的

目的	姉妹都市である黒部市との文化、スポーツ等の交流により、相互の理解と親善を深め、両市の発展に寄与することを目的とする。
成果	文化、スポーツ等をテーマに、各種訪問団の派遣、受入など、活発な交流がおこなわれたことにより、根室、黒部両市の相互の理解が深まり、まちの活性化に寄与する。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input checked="" type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	根室市姉妹都市提携市民会議への補助 ・交歓団受入(スポーツ交流)、文化作品交流(文化交流展の実施)等						
	28	姉妹都市提携40周年記念事業の実施 根室市姉妹都市提携市民会議への補助 ・交歓団派遣(スポーツ交流)、文化作品交流(黒部市開催の文化交流展への出展)等						
	29	根室市姉妹都市提携市民会議への補助 ・交歓団受入(スポーツ交流)、文化作品交流受入(文化交流展の実施)等						
	30	根室市姉妹都市提携市民会議への補助 ・交歓団派遣(スポーツ交流)、文化作品交流(黒部市開催の文化交流展への出展)等						
	31	根室市姉妹都市提携市民会議への補助 ・交歓団受入(スポーツ交流)、文化作品交流受入(文化交流展の実施)等						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		900	1,800	900	900	900	5,400
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他						
	一般財源		900	1,800	900	900	900	5,400
	人員(人工)		0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	
職員費(人員×8,081千円)		5,657	5,657	5,657	5,657	5,657	28,285	
総事業費		6,557	7,457	6,557	6,557	6,557	33,685	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	交流事業の実施回数	5回	8回	10回

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	幅広い分野での活発な交流を通じ、根室の魅力や資源に対する客観的な評価、意見を得ることで、根室市を再認識できるとともに、根室市では体験できない自然や文化、産業等を知ることで、文化、スポーツ交流の充実など、根室市の発展につながる。 また、防災分野においても、同時被災の可能性が限りなく少ない姉妹都市との交流により、災害時の被災者受入、物資提供等の応援も期待できる。
-------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 姉妹都市との友好・親善交流が推進されることにより、根室市では体験できない自然や文化、産業等を知ることができ、互いの文化レベルの向上が期待されることから、一定程度の市民ニーズがあると考えられる。
イ. 市が実施する必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input checked="" type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 姉妹都市提携については、現在、「根室市姉妹都市提携市民会議」(事務局は市)でおこなっているが、市民同士の交流であることから、民間主導による提携についても検討可能と考えられる。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はない 事業実施において緊急性はない。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 姉妹都市との交流にあたっては、市民個々の交流や各種団体による様々な交流事業がおこなわれることが重要であるが、姉妹都市交流団体として組織化された団体が他にないことから、根室市姉妹都市提携市民会議を中心とした交流事業の展開は、妥当であると考えられる。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 各種団体、個人会員からなる根室市姉妹都市提携市民会議において事業を実施しており、一定程度の公平性は確保されていると考えられる。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 市の発展に寄与するため、文化、スポーツ交流等による交流事業は、まちの活性化を図るうえで必要であると考えられる。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 より多くの市民に姉妹都市交流事業への参加を呼びかけ、市民(民間)レベルでの交流事業に繋がるよう事業推進されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 市民(民間)レベルでの交流事業に繋がるよう推進したい。

作成年度

平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	教育総務課(学校教育担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	外国語指導助手配置事業	事業番号	160

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	7-3	姉妹都市・国際交流の推進
	施策目標	子どもたちが安心して学ぶことができる良好な教育環境が確保されたまち	

2 事務事業の目的

目的	国際社会に生きる次世代の子どもたちの育成のため、市内小中学校に外国語指導助手を配置し、中学校の英語及び小学校の総合的な学習の時間の授業補助を行う。また、小学校には民間企業より外国人講師を派遣し、外国語活動の補助を行う。
成果	児童生徒の英会話やコミュニケーション力を高め、国際理解を深める。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input checked="" type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概 要						
		27	外国語指導助手の新規招致 小学校へ外国人講師の派遣					
	28	外国語指導助手の配置 小学校へ外国人講師の派遣						
	29	外国語指導助手の配置 小学校へ外国人講師の派遣						
	30	外国語指導助手の配置 小学校へ外国人講師の派遣						
	31	外国語指導助手の配置 小学校へ外国人講師の派遣						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		5,489	5,332	5,332	5,332	5,332	26,817
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他	17	17	17	17	17	85
	一般財源		5,472	5,315	5,315	5,315	5,315	26,732
	人員(人工)		0.25	0.17	0.17	0.17	0.17	
	職員費(人員×8,081千円)		2,020	1,374	1,374	1,374	1,374	7,516
総事業費		7,509	6,706	6,706	6,706	6,706	34,333	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	外国語指導助手及び外国人講師の配置人数	2名	2名	2名

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	児童生徒の英会話やコミュニケーション力が高まり、国際理解を深めることができる。
-------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 学習指導要領に基づき、全ての学校で実施しなければならない。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 学習指導要領に基づき、全市統一的に推進するため市が実施すべき事業である。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はない 恒常的に配置している必要がある。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の可能性はある 新学習指導要領では小学校3年生から外国語活動を始め、小学校5・6年生では正式教科に英語を加えることが検討されているため、現在の指導体制では不十分である。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地はある 各学校の教育課程に基づいているため、派遣回数及び指導時数が異なっている。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 国際社会に適応できる人材を義務教育段階から育成することは非常に有効である。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 総合計画事業として計画どおり実施されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する

作成年度 平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	社会教育課(社会教育担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	根室市中高生友好のかけはし事業	事業番号	12548

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	7-3	基本構想の推進方針
	施策目標	姉妹都市・国際交流の推進	

2 事務事業の目的

目的	根室の将来を担う中高生に、根室とゆかりのある地域を訪問して、地元の方々との交流、並びにその土地の産業・自然や、根室の特産物の利活用等を見ることで、根室の良さを再認識する。 併せて、団体活動をととしてコミュニケーション能力の向上と、地域活動やまちづくりに参画する青少年リーダーを養成する。
成果	黒部市での交流等により、黒部市への理解と、黒部市と比較して、根室市にある天然記念物や文化財、歴史などについて再認識し、地域活動やまちづくりに参画する青少年リーダーの育成が期待される。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input checked="" type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	事前研修で、黒部市・根室市について学習。黒部市を訪問し交流を図り、事後研修において、各自が黒部市・根室市について学校での発表準備、及び発表をする。						
	28	事前研修で、黒部市・根室市について学習。黒部市を訪問し交流を図り、事後研修において、各自が黒部市・根室市について学校での発表準備、及び発表をする。						
	29	事前研修で、黒部市・根室市について学習。黒部市を訪問し交流を図り、事後研修において、各自が黒部市・根室市について学校での発表準備、及び発表をする。						
	30	事前研修で、黒部市・根室市について学習。黒部市を訪問し交流を図り、事後研修において、各自が黒部市・根室市について学校での発表準備、及び発表をする。						
	31							
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		2,226	2,130	2,130	2,130		8,616
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他	1,000	1,000	1,000	1,000		4,000
		一般財源	1,226	1,130	1,130	1,130		4,616
	人員(人工)		0.08	0.08	0.08	0.08		0.32
	職員費(人員×8,081千円)		646	646	646	646		2,584
総事業費		2,872	2,776	2,776	2,776		11,200	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	根室市の歴史や文化財、天然記念物など「ふるさと根室」についての再認識		100%	100%
	黒部市との交流人数	20人	20人	—
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)				

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	黒部市を訪問し交流を図り、黒部市の魅力を認識することと併せて、黒部市と比較した根室市の特徴や良さを再認識できる。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 学校関係者から、参加生徒の報告会で黒部市や根室市についての自然・歴史などの特徴について説明を受けて、黒部市との交流と根室市を再認識するために大切な事業であるとの評価が聞かれる。
イ. 市が実施する必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 根室市と黒部市の交流事業は市民団体が主体となって実施していることから、中高生の交流事業についても検討する余地がある。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はない 黒部市との交流事業の中で、中高生の分野がないことから、交流を求める意見がある。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 実行委員会組織により実施することにより、行政サイドだけではなく広く市民の中に交流する意識の拡大が図られる。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 各中学校・高校から1名の参加で、一度参加した生徒は参加できないことから、公平性は高い。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 黒部市との姉妹都市交流で中高生が訪問する事業が無かったことから、交流を図るうえで有効である。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【再検討して実施】 将来的な事業の在り方等について再検討された上で、事業を推進されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input checked="" type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 本事業について、今後の交流方法等について実行委員会で協議する。

作成年度

平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	総合文化会館(事業担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	「北国讃歌IN黒部」事業	事業番号	12527

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	7-3	姉妹都市・国際交流の推進
	施策目標	幅広い視野と豊かな人間性を育み交流するまち	

2 事務事業の目的

目的	市民がいつでも文化・芸術活動等、生涯学習施設の拠点として利用できる施設機能維持を図るため。
成果	ジョイントコンサートを通して黒部市と根室市の継続的な発展を祈念するとともに、相互理解と文化交流活動を深める。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input checked="" type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	黒部市や根室市の市民による記念事業コンサートでベートーヴェンの「第九」や交響組曲「北国讃歌」を演奏した。						
	28							
	29							
	30							
	31							
			(単位:千円)	H27	H28	H29	H30	H31
事業費と内訳	事業費		3,116					3,116
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他						
	一般財源		3,116					3,116
	人員(人工)		0.17					
職員費(人員×8,081千円)		1,374					1,374	
総事業費		4,490					4,490	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
		合計/年						

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	「北国讃歌IN黒部」事業開催	1回		
	「北国讃歌IN黒部」における交流人数(観客数+出演者数)	1,000人		

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	ジョイントコンサートをとおして両市の継続的な発展を祈念するとともに、相互理解と文化交流活動を深める。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 北陸新幹線の開通や、国際文化センターコラーレ20周年の節目であり、ニーズはある。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 事業の性質から市が実施すべきである。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 事業の性質から平成27年度しか実施できない。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 交流の手段として適切である。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 幅広い市民層と交流がされたため、概ね公平である。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 相互理解と文化交流活動を深める事業として有効性が高い。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 事業完了につき、特記事項はなし。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する

作成年度 平成27年度